I·O DATA

3 Mac OS 版 セットアップガイド HDOT2-UEシリーズ

B-MANU200246-01

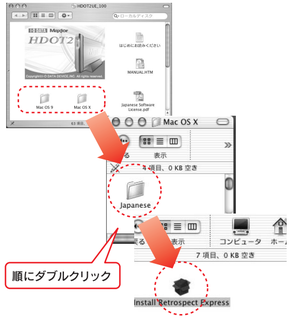
注意 本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。
取り付ける前に本製品のシリアル番号をメモしてください。(別紙①はじめにお読みください)の[箱の中には]参照)
※画面はMac OS Xの例です。

1 インストールする

ここでは、Maxtor OneTouch機能およびバックアップ機能のソフトウェアをインストールします。
以下の手順に従ってインストールしてください。

1. OSを起動します。
2. サポートソフトをCD-ROMドライブに挿入し、表示されたアイコンをダブルクリックします。

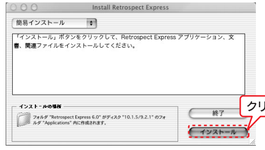
3. [Mac OS X(Mac OS 9)]フォルダ→[Japanese]フォルダ→[Install Retrospect Express]を順にダブルクリックします。
※Mac OS 9ご利用の際はMac OS 9フォルダ内を参照ください。



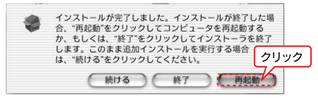
4. 名前とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

5. [続ける]ボタンをクリックします。ライセンス画面でソフトウェアライセンス契約書をお読みになり、同意される場合は、[同意]ボタンをクリックしてください。

6. インストールボタンをクリックします。



7. [再起動]ボタンをクリックします。



8. 再起動が完了したら、サポートソフトCD-ROMを取り出します。
次に、「接続する前に」におすすみください。

2 接続する前に

Mac OS X の場合

「ディスクユーティリティ(Disk Utility)」を起動します。
[起動ボリューム]→[アプリケーション]→[ユーティリティ]→[ディスクユーティリティ]を開きます。

Mac OS 9 の場合

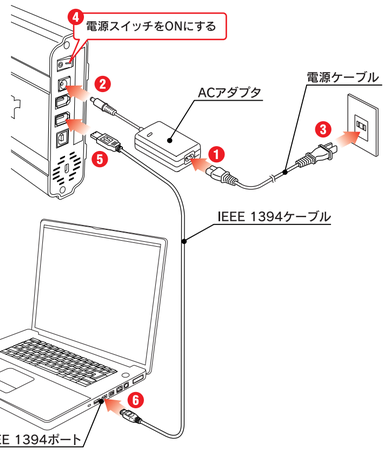
1. 「機能拡張マネージャ」を開きます。
 →[コントロールパネル]→[機能拡張マネージャ]をクリックします。
2. [File Exchange]を無効にします([×]を外す)。
3. [再起動]ボタンをクリックします。Mac OSが再起動します。

(Mac OS 9の[機能拡張マネージャ]画面)

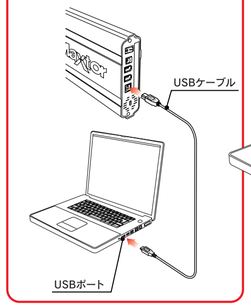
3 接続する

お使いの環境によっては、USBケーブルで接続した場合に、初期化するときにエラーとなる場合があります。IEEE 1394ケーブルにて接続してください。(初期化の後は、USBケーブルで接続しても使用できます。)

1. 添付の電源ケーブルをACアダプターに接続します。
2. ACアダプターを本製品の電源入力端子に接続します。
3. 電源ケーブルをコンセントに接続します。
4. 電源スイッチをONにします。
5. 添付のIEEE 1394ケーブル(またはUSBケーブル)を本製品のIEEE 1394ポート(またはUSBポート)に接続します。
6. パソコンのIEEE 1394ポート(またはUSBポート)に接続します。



USBポートと接続する場合



「FAT32ボリュームがデスクトップに表示されました」というメッセージが表示された場合は、[Cancel]ボタンをクリックしてください。

4 初期化する

Mac OS X 10.1.5/10.2.4~10.2.8/10.3~10.3.9

1. 本製品(Maxtor)を選びます。

※画面はMac OS X 10.3.3での例です。

2. [パーティション]タブをクリックします。
3. 初期化の設定を行います。
 ■ボリュームの方式:1パーティション
 ■フォーマット:Mac OS拡張(ジャーナリング)またはMac OS拡張
4. [パーティション(OK)]ボタンをクリックします。
5. [パーティション]ボタンをクリックします。
初期化が始まります。

参考 初期化後、以下の画面が表示される場合があります。[続ける]ボタンをクリックします。

※画面はMac OS X 10.3.3での例です。

この画面は表示されてからしばらく経つと消えてしまいます。消えた可能性がある場合は、一度パソコンに接続しているケーブルを抜き差ししてください。

こんな時には…

本製品が表示されない

●本製品が表示されるまで時間がかかる場合があります。もう数分お待ちください。

Mac OS 9.1~9.2.2

1. 右の画面が表示されます。
2. 「名前」に本製品に付ける名前を入力します。
3. 「フォーマット」を[Mac OS拡張]に設定します。
4. [初期化]ボタンをクリックします。
後は画面の指示に従ってください。

5. 【2 接続する前に】を参考に「File Exchange」を有効にします([×]を付ける)。

5 確認する

1. アイコンの確認
ハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。

裏へ続く

6 基本操作

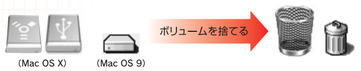
本製品を使う上での操作について説明します。

【接続する】

本製品はいつでも接続することができます。【 3 接続する】を参照し、本製品を接続してください。

【取り外す】

❶ 本製品のボリュームをゴミ箱に捨てます。



❷ 本製品をパソコンから取り外します。

❸ 本製品の電源スイッチをOFFにします。

注意

- **機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。**
- **複数の機器を接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。**

※機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから機器の電源を入れ直し、機器の電源を入れた状態で再度接続してください。また、必ず各機器の取扱説明書もご覧ください。

オンラインマニュアルについて

【困ったときには】などの情報があります。ぜひご覧ください。

❶ サポートソフトを挿入します。自動的にサポートソフトの中身が表示されます。
※表示されない場合は[HDOT2UE_xxx]をダブルクリックして開いてください。

❷「manual.htm」を開いてください。

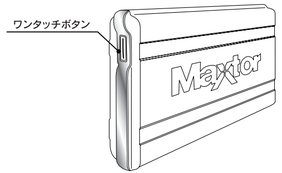
本製品使用上のご注意

- ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなくコネクタを持って取り外してください。
- ご利用の本体との組み合わせにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけない場合があります。
- 本製品にソフトウェアをインストールしないでください。
  OS起動時に実行されるプログラムが見つからない等の理由により、ソフトウェア(ワープロソフト、ゲームソフトなど)が正常に利用できない場合があります。
- 他のUSB機器を使う場合は下記に注意してください。
  ■本製品の転送速度が遅くなることがあります。
  ■本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります。その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。
- IEEE 1394接続時、本製品の後にIEEE 1394機器が接続されている場合は電源を切らないでください。
  本製品より後のIEEE 1394機器が認識されなくなります。
- 本製品からのOS起動は、Mac OS Xでブータブルバックアップを行った場合のみ可能です。
- Mac OSとWindowsでは、フォーマット形式の違いにより併用することはできません。
- Mac OS Xでコピーする際は、ファイルシステムの違いに注意してください。
  コピー元とコピー先でファイルシステムが異なると、エラーが発生する場合があります。その場合は、ファイル名(文字や文字数)を変えてください。本製品を「Mac OS拡張」で初期化して使うことをおすすめします。
- 本製品は1パーティションで使用することをおすすめします。
- IEEE 1394ケーブルとUSBケーブルを本製品に同時に接続しないでください。
- スタンドにのせて縦置きで使用ください。

7 OneTouch機能の設定

ワンタッチボタンを押すと実行する内容を設定します。
バックアップはDantzの「Retrospect　Express」を実行して行います。

❶ ワンタッチボタンを押します。



❷ 名前とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

❸ ユーザー登録を後でする場合は[後で登録]ボタンを、既に登録済みの場合は、[登録済]ボタンをクリックします。ここでユーザー登録する場合は、[今すぐ登録]ボタンをクリックします。

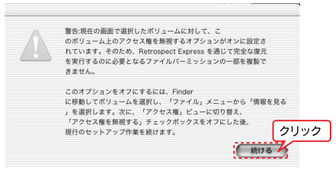
❹ [次へ]ボタンをクリックします。

❺ コピー元を指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

❻ ファイルの種類を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

❼ 保存先を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

❽ 以下の画面が表示されたときは、[続ける]ボタンをクリックします。設定終了後に、「アクセス権を無視する」チェックボックスをオフにしてください。(下記画面参照)



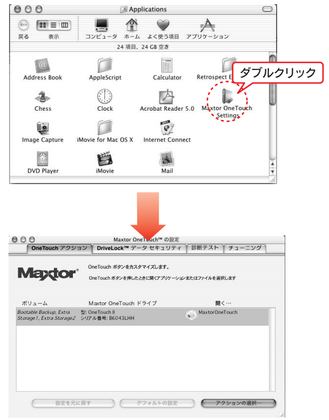
❾ [終了]ボタンをクリックします。

以上でOneTouch ボタン機能の設定は終了です。
今すぐバックアップを行う場合は、[今すぐ開始]ボタンをクリックしてください。
次回からは、ワンタッチボタンを押すだけで、バックアップを開始します。

8 OneTouch機能のカスタマイズ

OneTouchボタンを押したとき実行するアプリケーションを設定やDriveLock™データセキュリティの設定を行うことができます。

❶ アプリケーション内にある[Maxtor OneTouch Settings]をダブルクリックします。



※[Maxtor OneTouch™の設定]のくわしい説明は、オンラインマニュアルをご覧ください。